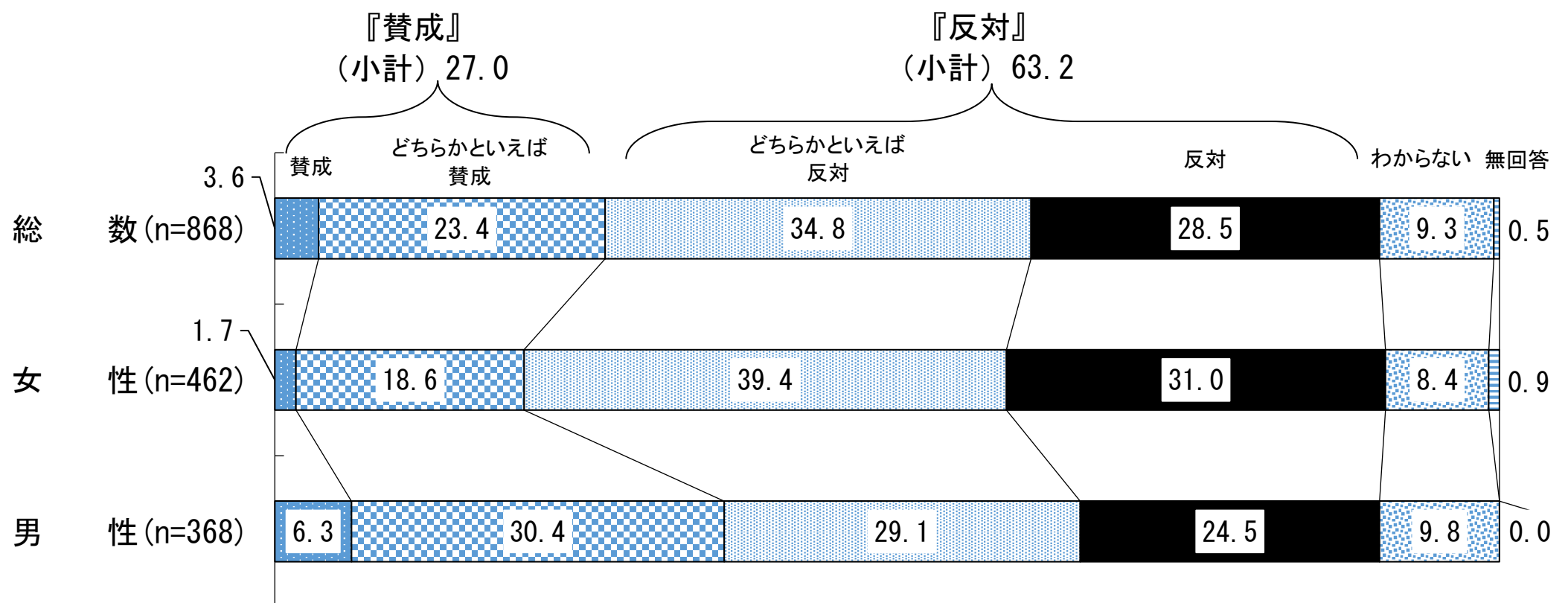


2 家庭における役割

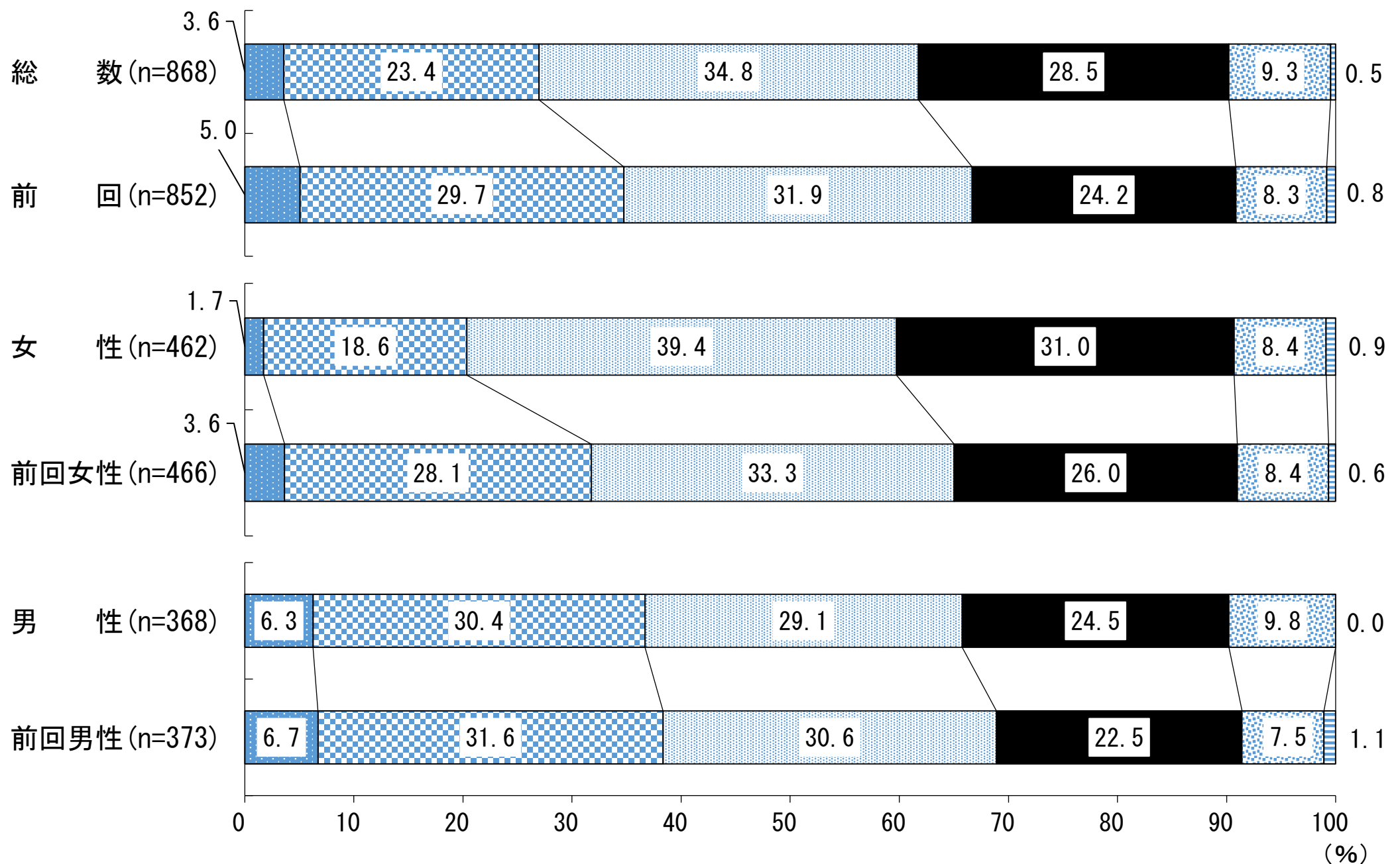
問2 「妻は家庭を守り、夫は外で働く」という考え方についてお聞きします。
あなたの考え方に近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- ・「反対」「どちらかといえば反対」をあわせた『反対』が63.2%で、「賛成」「どちらかといえば賛成」をあわせた『賛成』の27.0%を36.2ポイント上回っている。
- ・性別にみると、男女共に『反対』が高くなっているが、項目を個別にみると、女性は「どちらかといえば反対」が最も高く、男性は「どちらかといえば賛成」と「どちらかといえば反対」が拮抗している。

図2-1 家庭における役割に係る意見



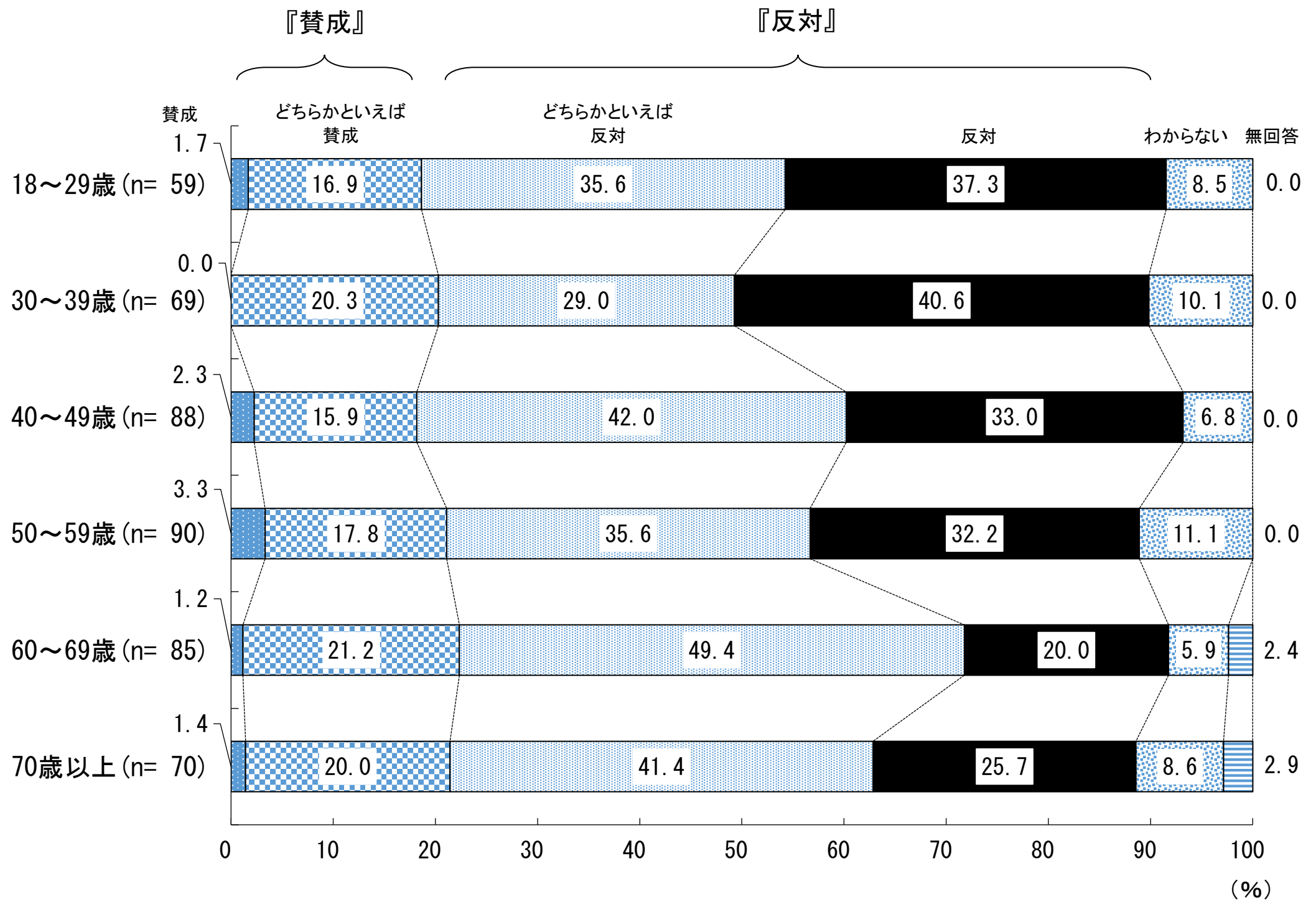
[参考 : 前回比較]



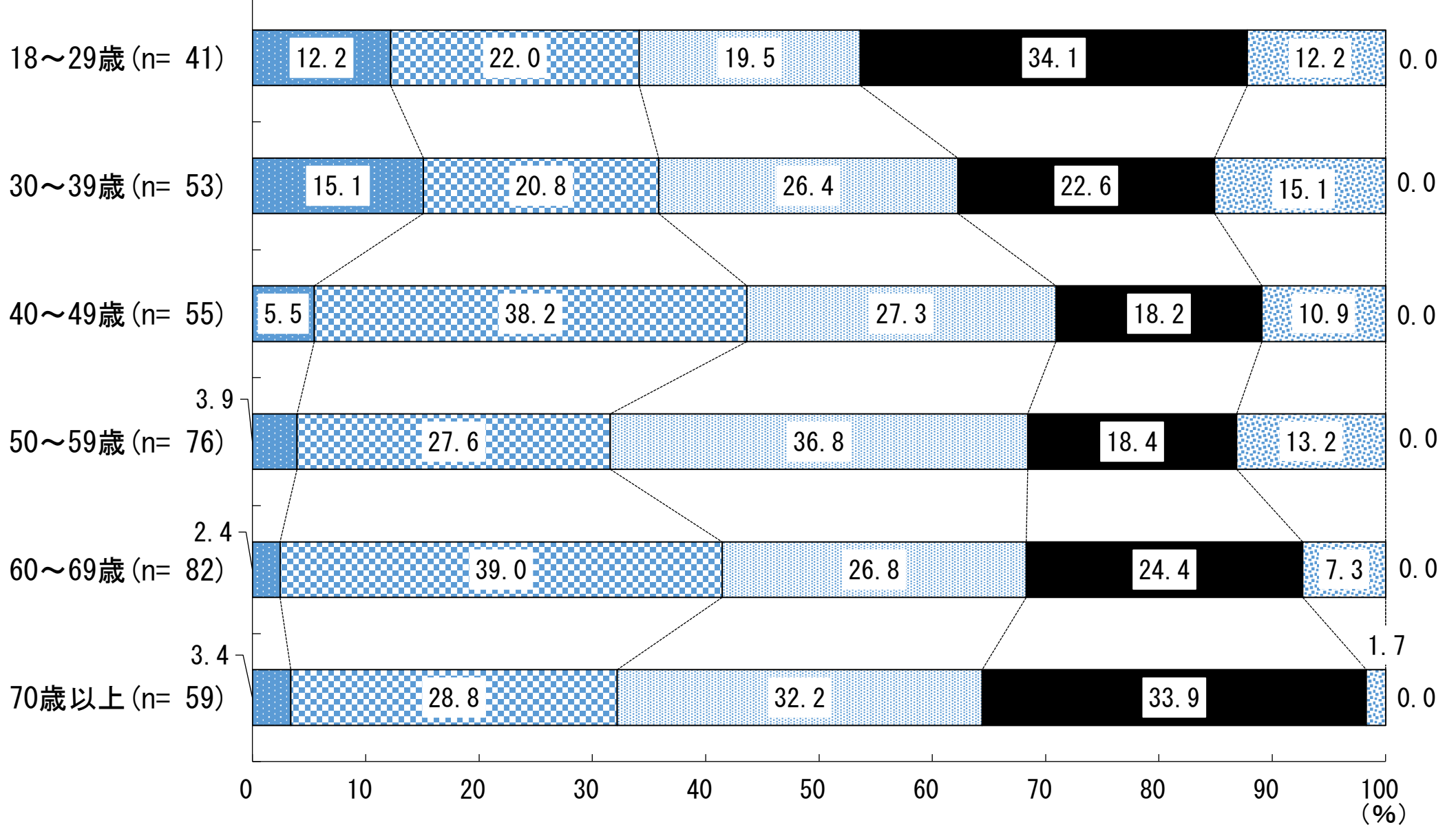
- ・性別・年代別にみると、男女共にすべての年代で『反対』が高くなっている。
- ・男性は、40歳代と60歳代で「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。

図2-2 家庭における役割に係る意見（性別・年代別）

[女 性]



[男 性]

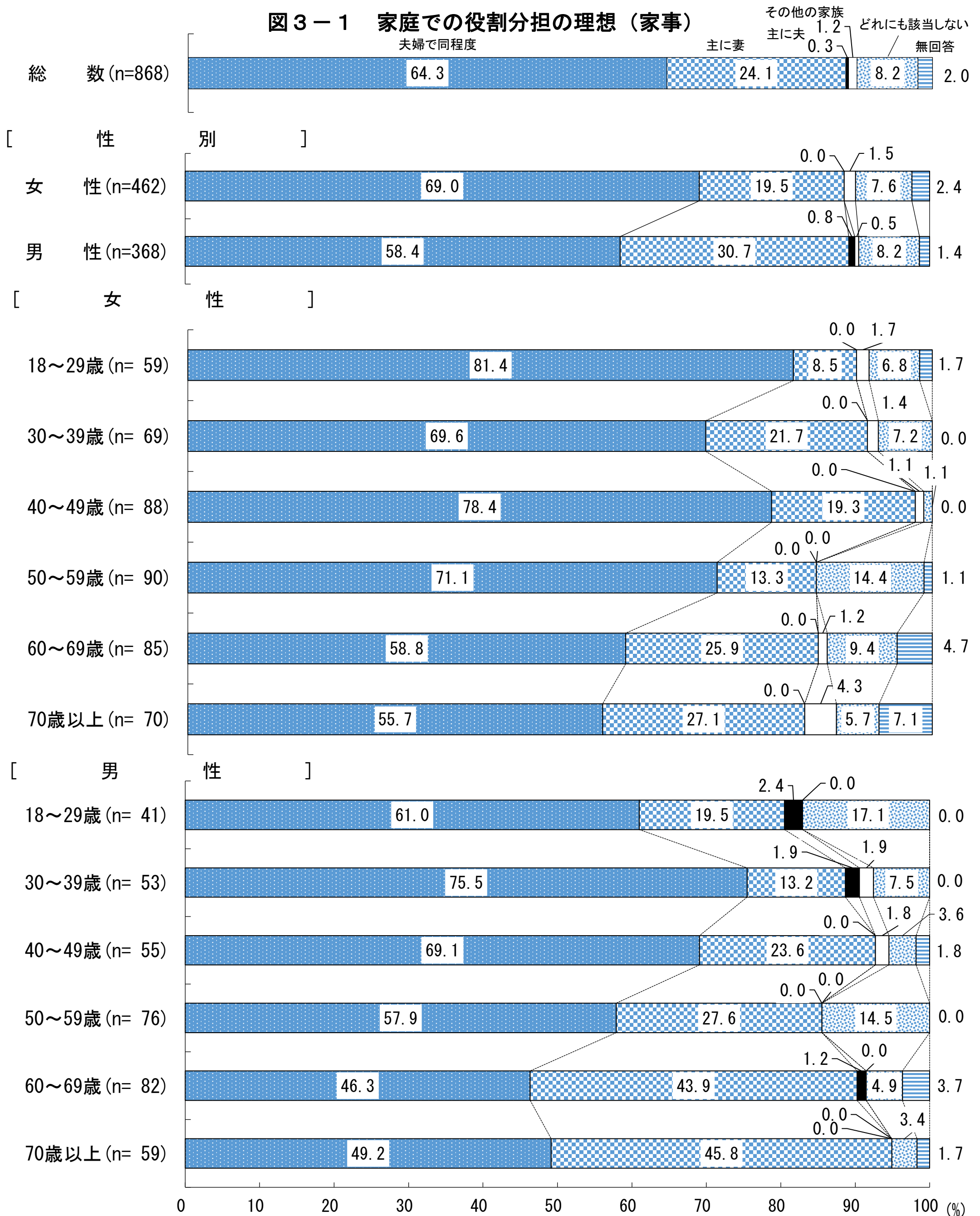


問3 あなたは、次のアからウについて、どのように分担するのがよいと思いますか。それぞれの項目について、1～5の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。

ア 家事

- ・家事について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が64.3%で最も高く、次いで「主に妻」が24.1%となっている。
- ・性別にみると、女性で「夫婦で同程度」の割合がより高くなっている。
- ・性別・年代別にみると、どの世代においても「夫婦で同程度」が最も高くなっている。

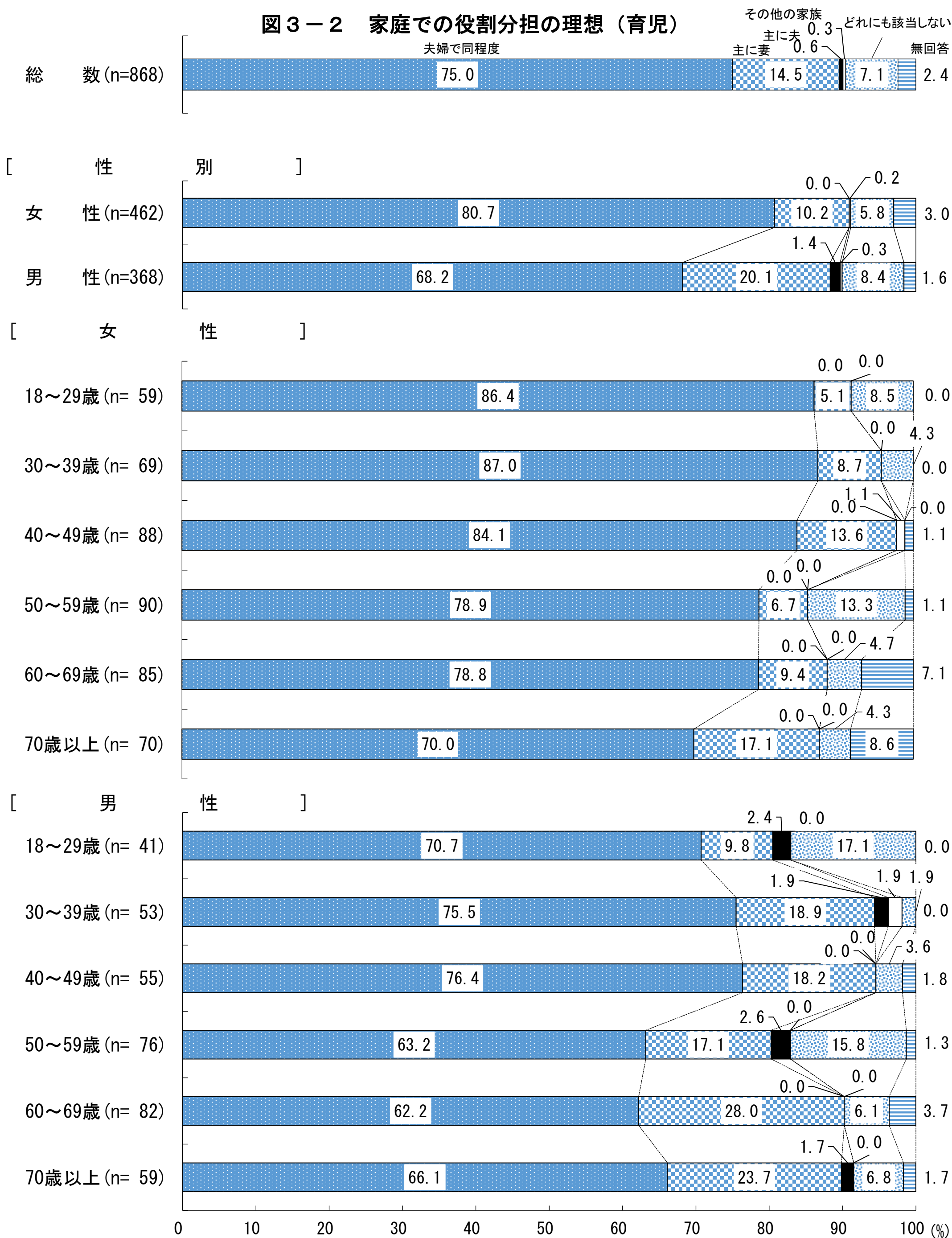
図3-1 家庭での役割分担の理想（家事）



イ 育児

- ・育児について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が75%で最も高く、次いで「主に妻」が14.5%となっている。
- ・性別にみると、女性で「夫婦で同程度」の割合がより高くなっている。
- ・性別・年代別にみると、どの年代においても「夫婦で同程度」が最も高くなっている。

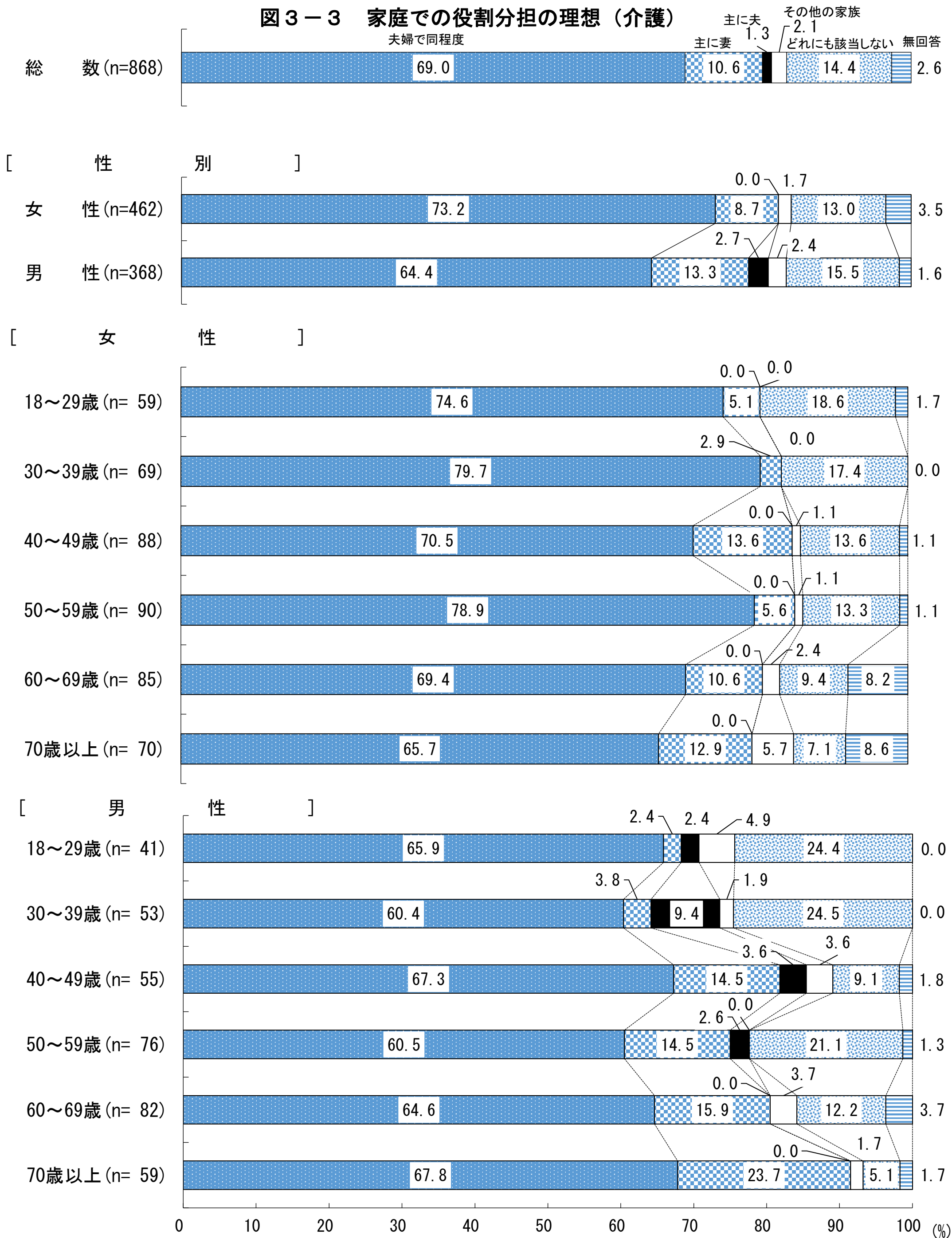
図3-2 家庭での役割分担の理想（育児）



ウ 介護

- ・介護について、家庭での役割分担の理想を聞いたところ、「夫婦で同程度」が69%で最も高くなっている。
- ・性別にみると、女性で「夫婦で同程度」の割合がより高くなっている。
- ・性別・年代別にみると、男性は年代が上がるにつれ「主に妻」の割合が高い傾向にある。

図3-3 家庭での役割分担の理想（介護）

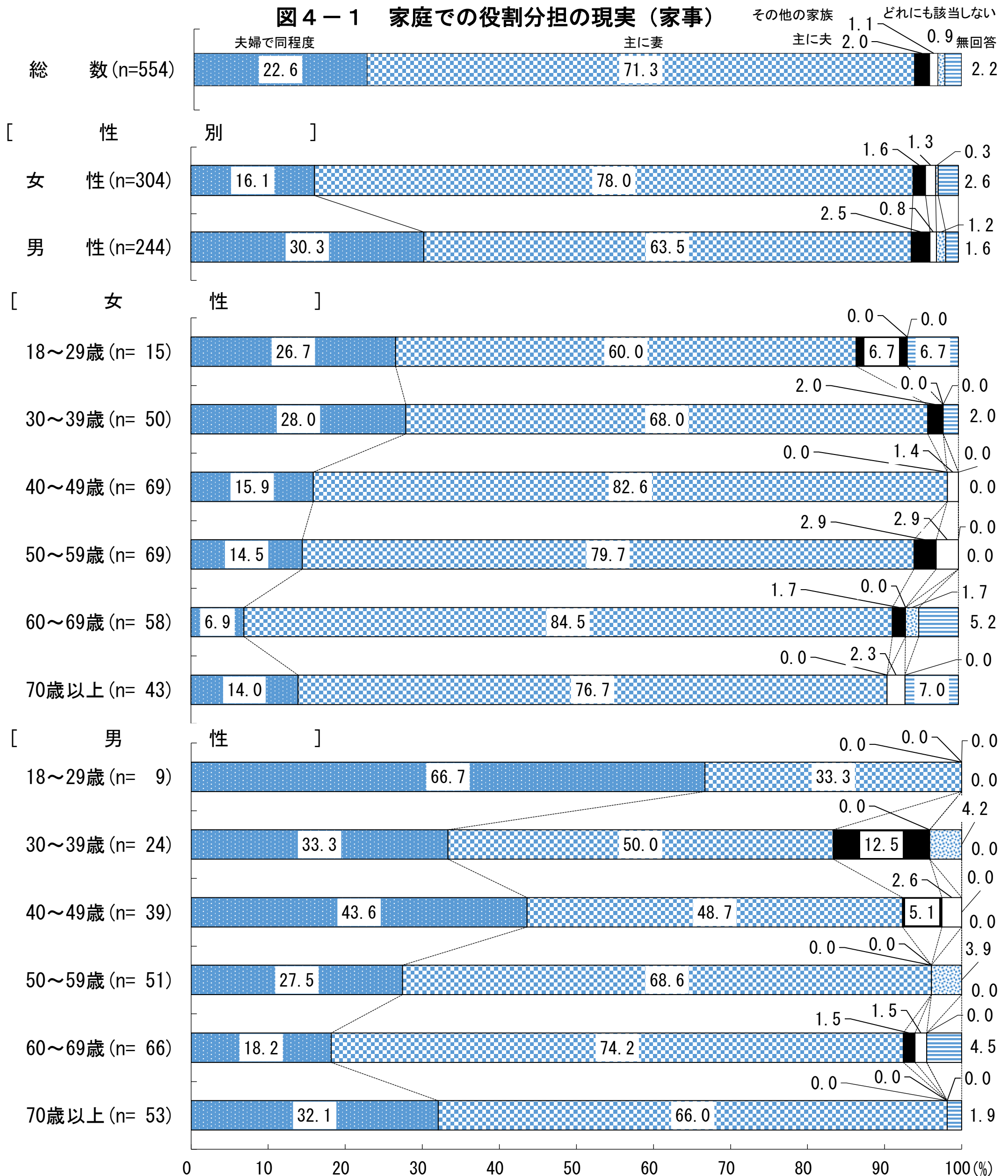


問4 現在結婚をされている方（事実婚を含む）にお聞きします。
 あなたの家庭では、次のアからウについて、主にどなたが担当していますか。それぞれの項目について、1～5の中から1つ選んで、番号に○をつけてください。
 →現在結婚をされていない方は、問5へ

ア 家事

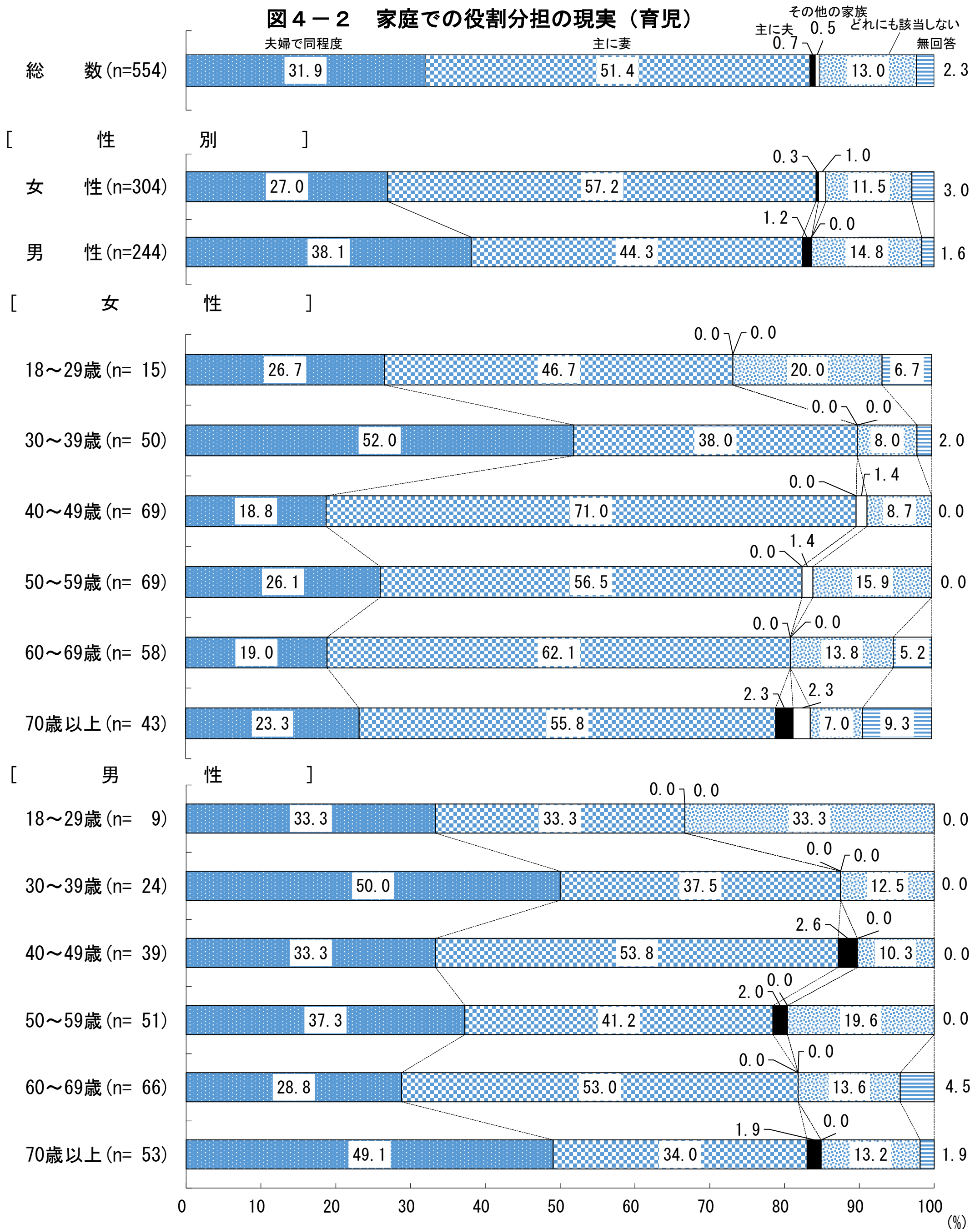
- ・現在結婚している人に、家事について家庭での役割分担を聞いたところ、「主に妻」が71.3%で最も高く、次いで「夫婦で同程度」が22.6%となっている。
- ・男女共にどの年代においても「主に妻」が最も高く、特に女性でその割合が高い。一方で、「夫婦で同程度」は男性の方が高く、男女間で認識の違いがみられる。

図4-1 家庭での役割分担の現実（家事）



イ 育児

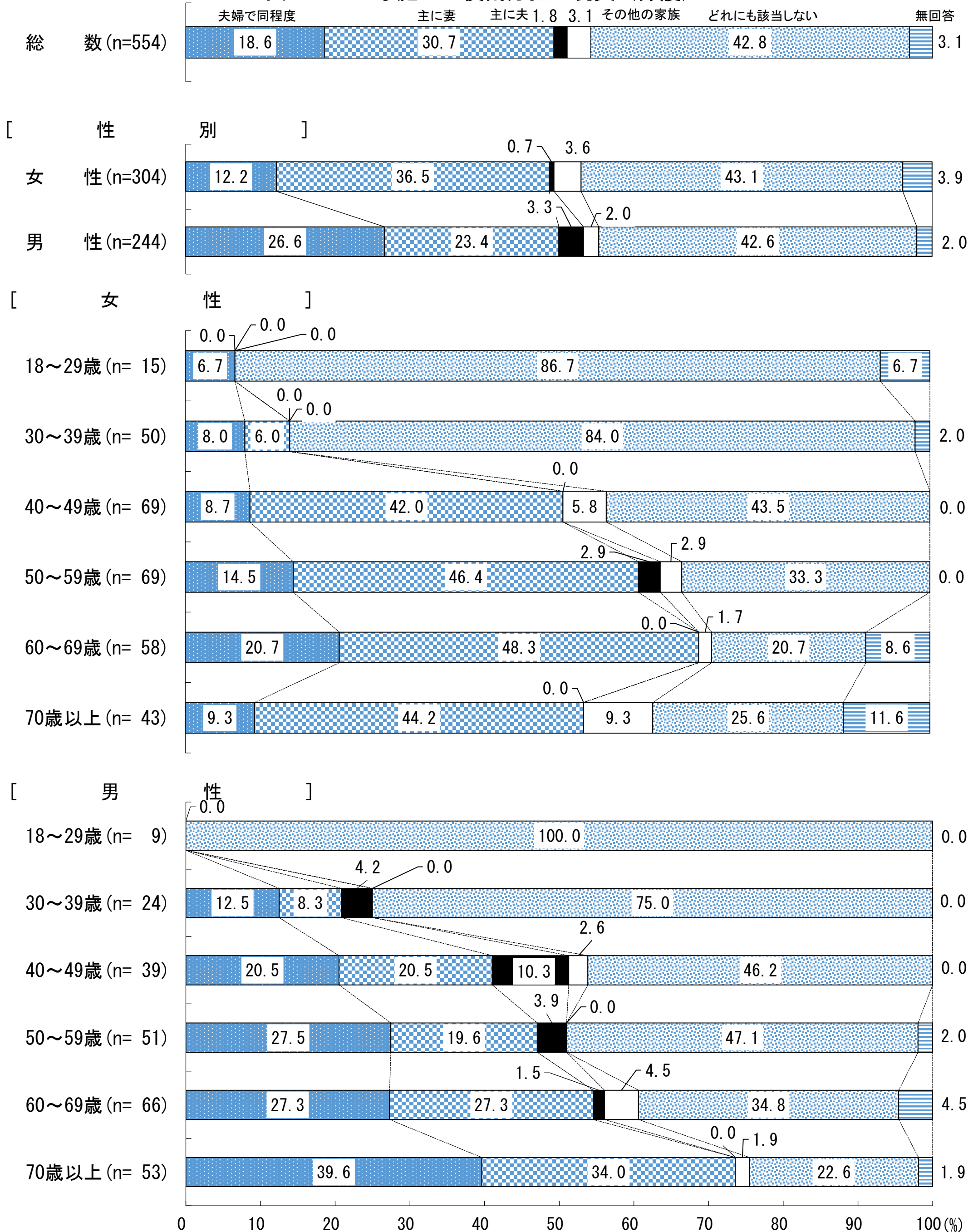
- ・ 現在結婚している人に、育児について家庭での役割分担を聞いたところ、「主に妻」が51.4%で最も高く、次いで「夫婦で同程度」が31.9%となっている。
- ・ 30歳代では「夫婦で同程度」が最も高く男女差も少ないが、他の年代では男女共に「主に妻」が最も高く、特に女性でその割合が高い。また、「夫婦で同程度」は30歳代を除いて男性の方が高く、男女間で認識の違いがみられる。



ウ 介護

- ・現在結婚している人に、介護について家庭での役割分担を聞いたところ、「どれにも該当しない」を除くと「主に妻」が30.7%で最も高くなっている。
- ・「どれにも該当しない」を除くと、女性は40歳以上の年代で「主に妻」が、男性は30歳以上の年代で「夫婦で同程度」が最も高くなっており、男女間で認識の違いがみられる。

図4-3 家庭での役割分担の現実（介護）

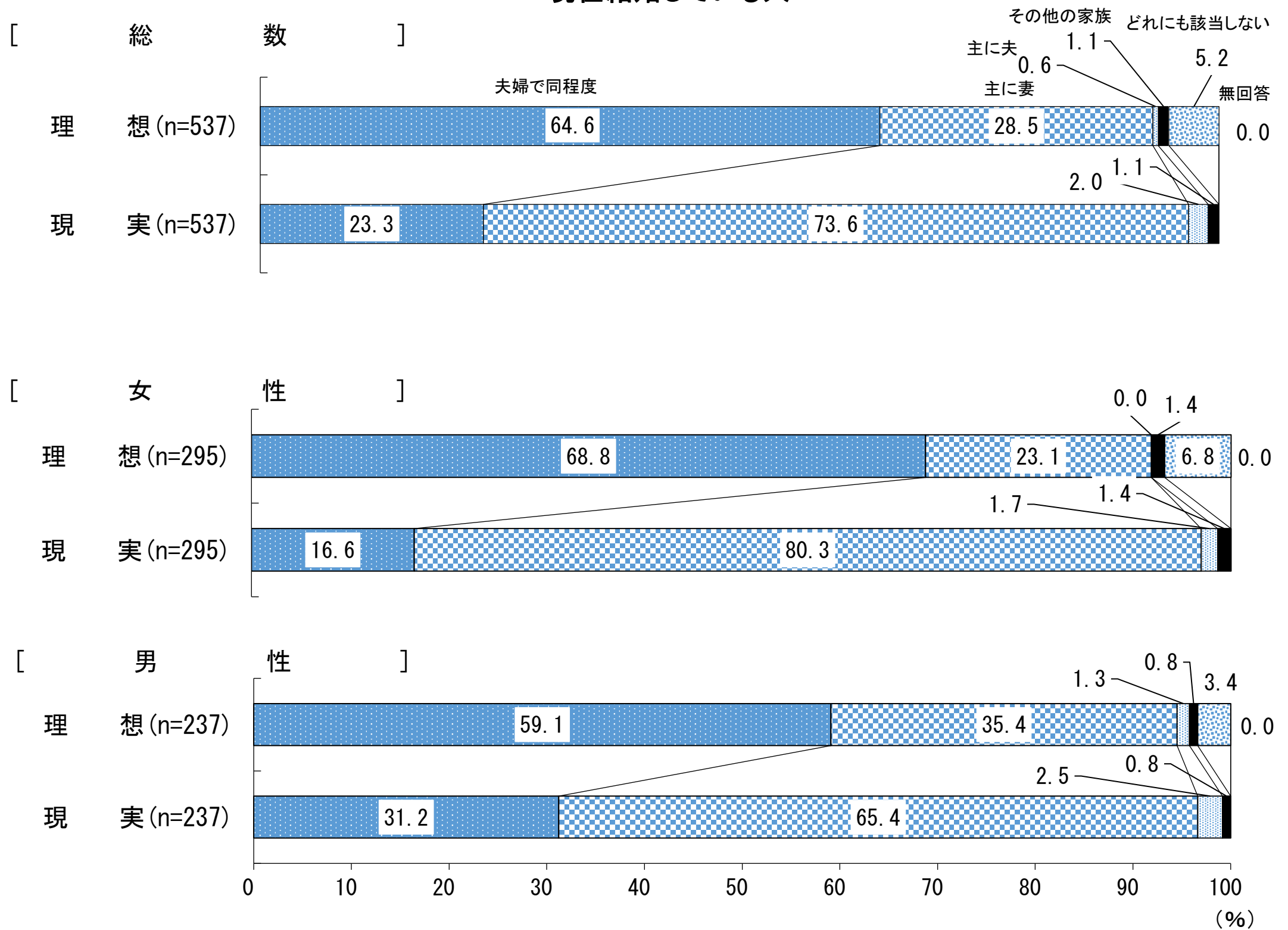


家庭での役割分担 ～現在結婚している人の理想と現実～

ア 家事

- ・家庭での家事の役割分担について、現在結婚していて、家事に携わっている人[※]の理想と現実を比較すると、「夫婦で同程度」は現実が理想を41.3ポイント下回る一方で、「主に妻」は45.1ポイント上回り、理想と現実との間に大きな差がみられる。
- ・性別にみると、理想と現実の差は、女性でより大きくなっている。

図4-4 家事の役割分担の理想と現実
～現在結婚している人～



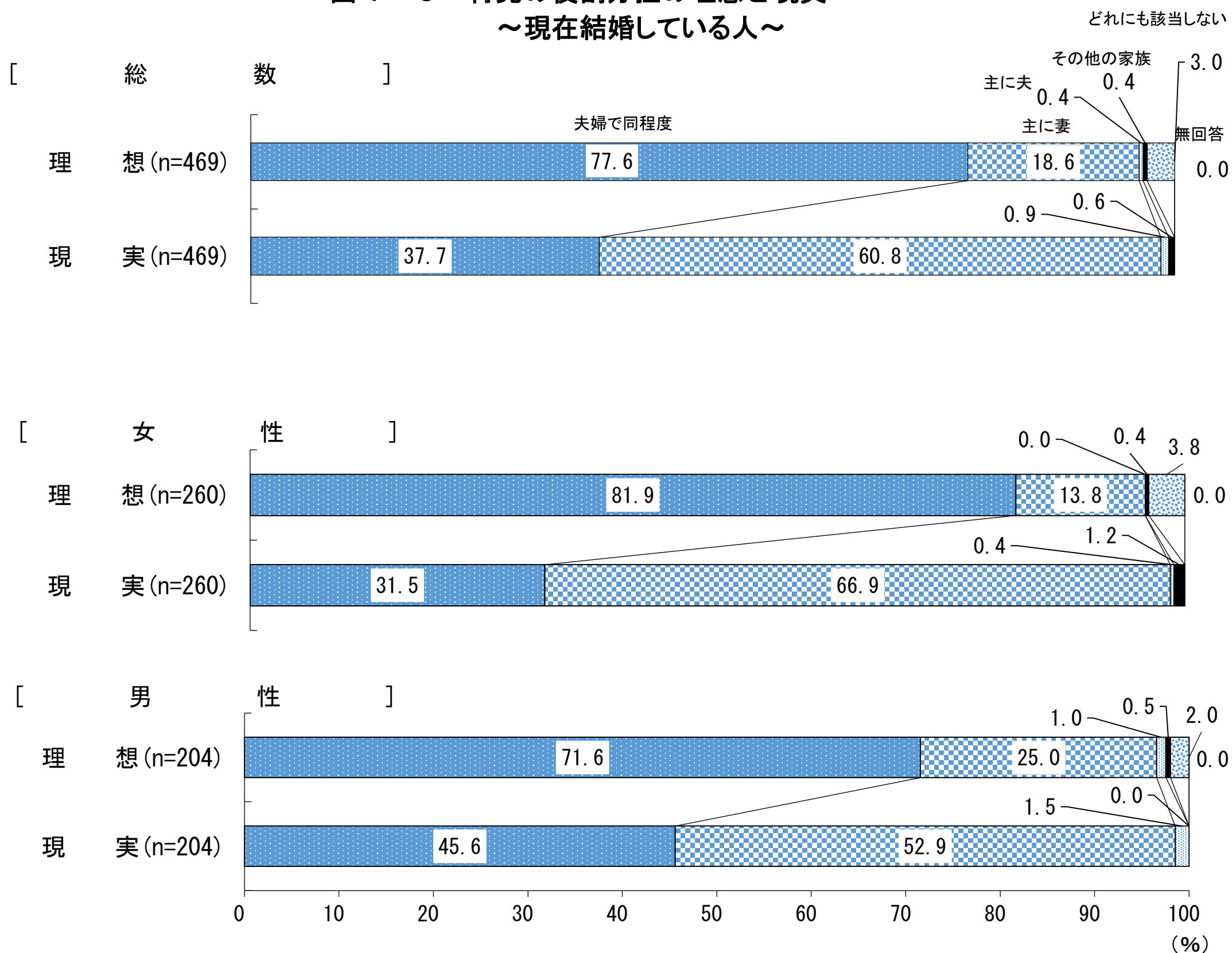
※問4アで「該当しない」と回答した方と、無回答を除く

家庭での役割分担 ～現在結婚している人の理想と現実～

イ 育児

- ・家庭での育児の役割分担について、現在結婚していて、育児に携わっている人[※]の理想と現実を比較すると、「夫婦で同程度」は現実が理想を39.9ポイント下回る一方で、「主に妻」は42.2ポイント上回り、理想と現実との間に大きな差がみられる。
- ・性別にみると、理想と現実の差は女性でより大きくなっている。

図4-5 育児の役割分担の理想と現実
～現在結婚している人～



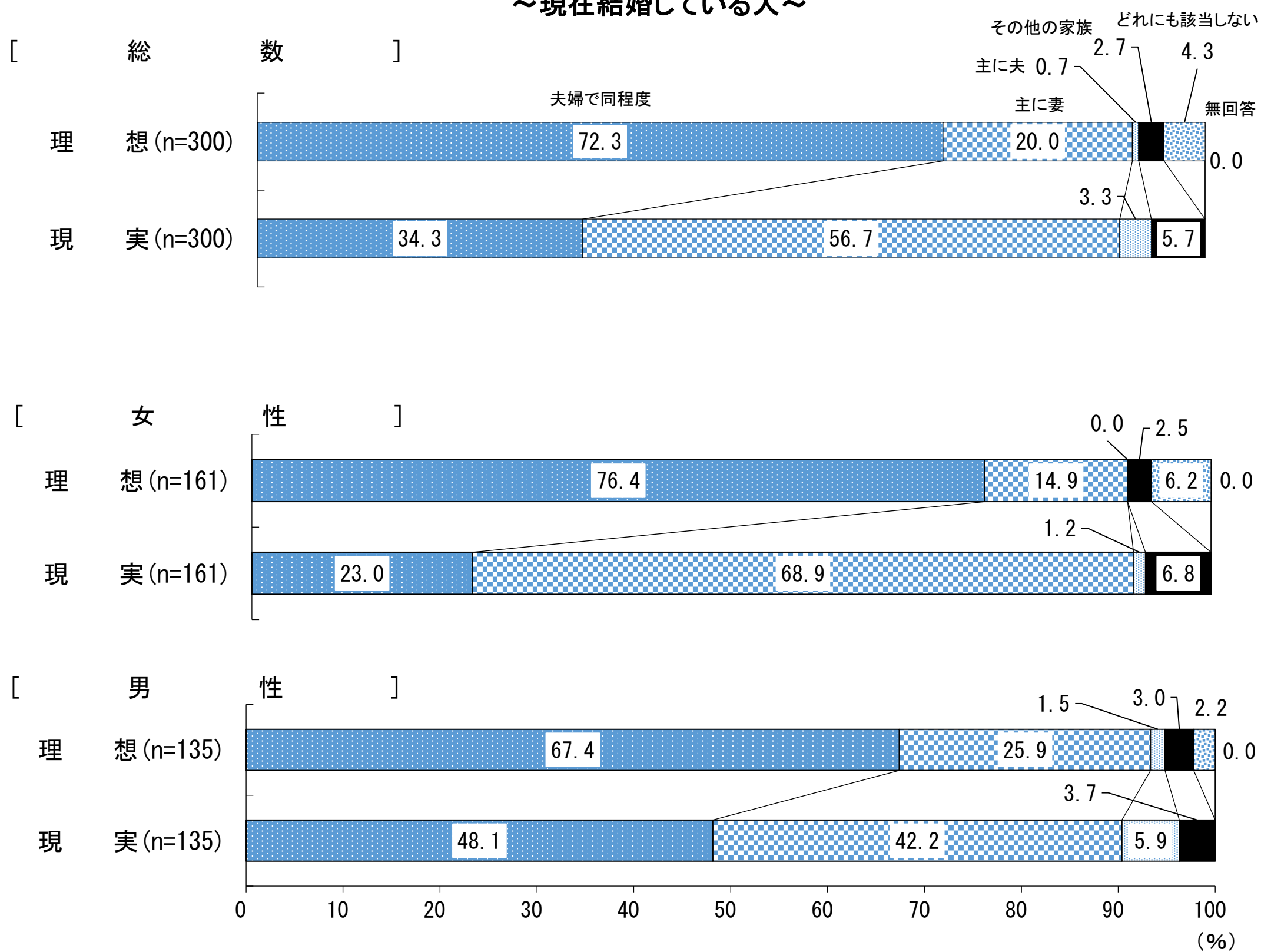
※問4イで「該当しない」と回答した方と、無回答を除く

家庭での役割分担 ～現在結婚している人の理想と現実～

ウ 介護

- ・家庭での介護の役割分担について、現在結婚していて、介護に携わっている人[※]の理想と現実を比較すると、「夫婦で同程度」は現実が理想を38.0ポイント下回る一方で、「主に妻」は36.7ポイント上回り、理想と現実との間に大きな差がみられる。
- ・性別にみると、理想と現実の差は女性でより大きくなっている。

図4-6 介護の役割分担の理想と現実
～現在結婚している人～



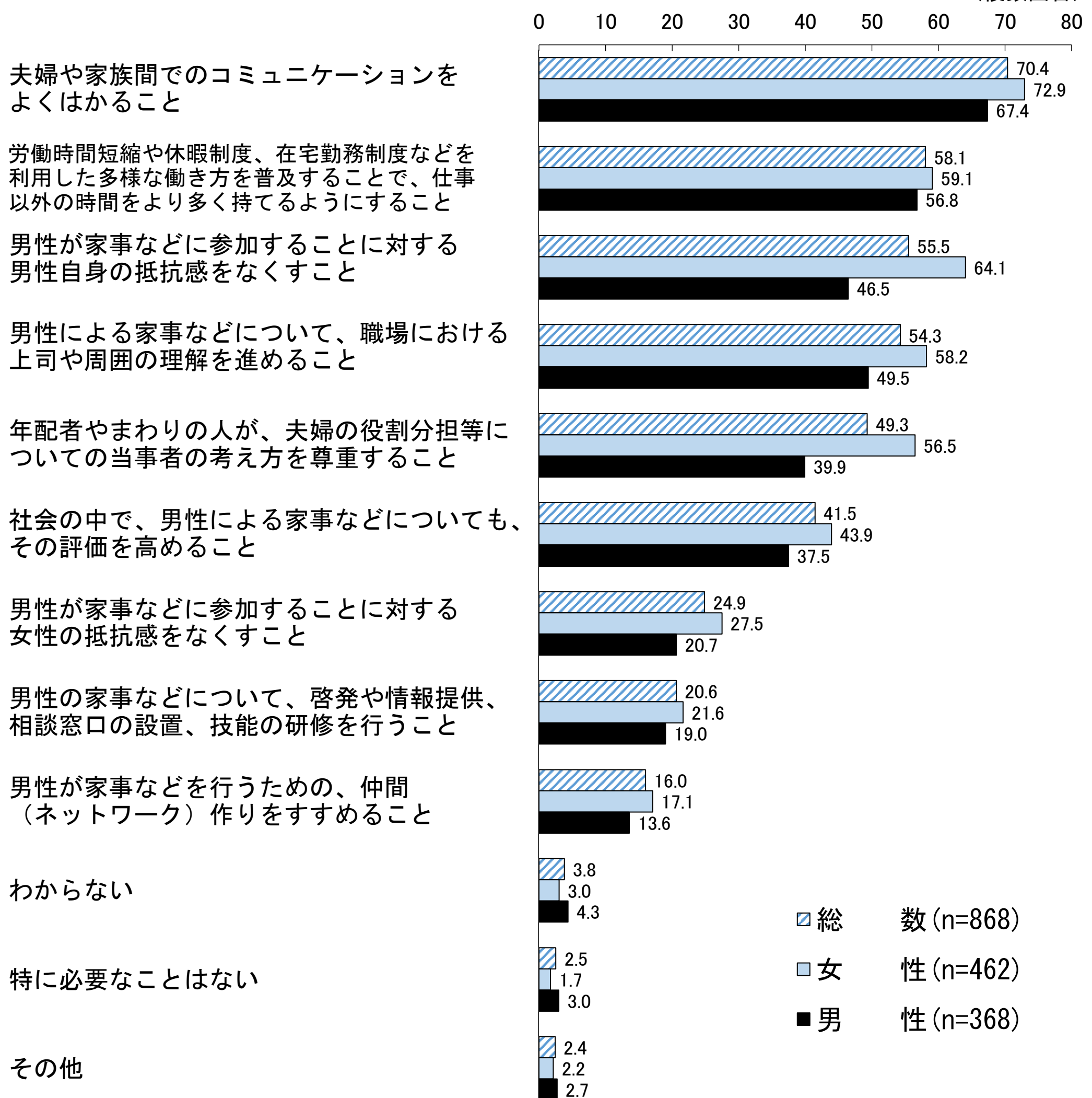
※問4ウで「該当しない」と回答した方と、無回答を除く

問5 あなたは、今後、男性が家事・育児・介護、地域活動に積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が70.4%で最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度、在宅勤務制度などを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が58.1%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が55.5%となっている。
- ・性別にみると、女性は「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が2番目に高く、いずれの項目も男性よりも高い割合となっている。

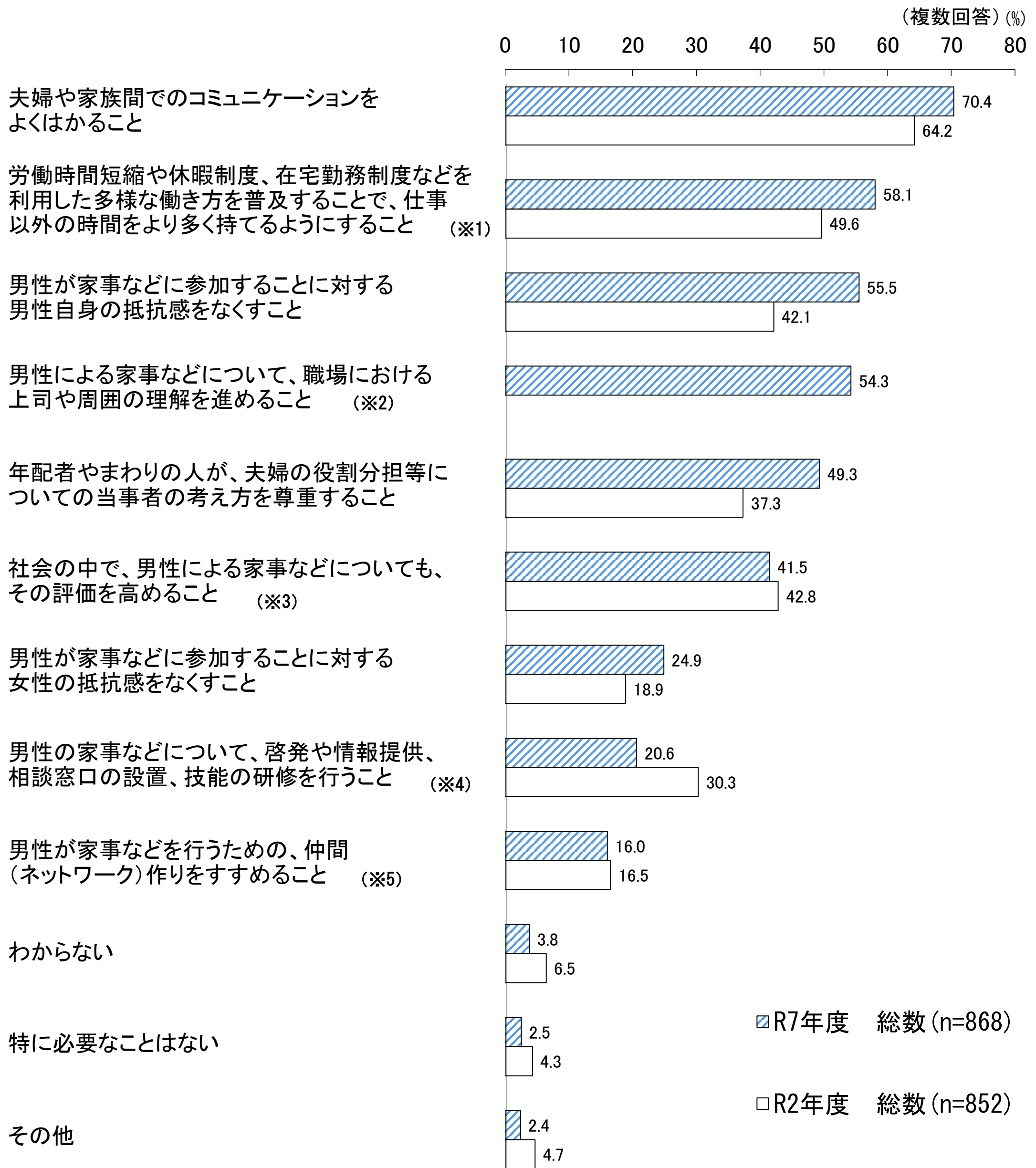
図5-1 男性が家事・育児・介護、地域活動に関わるために必要なこと

(複数回答) (%)



【参考：前回比較】

図5-2 男性が家事、育児、介護に関わるために必要なこと(前回比較)



※1 前回調査では、「労働時間短縮や休暇制度を普及・活用することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」

※2 今回調査での新たな選択肢

※3 前回調査では、「社会の中で、男性による家事、育児、介護についても、その評価を高めること」

※4 前回調査では、「男性が家事、育児、介護に関心が高めるよう啓発や情報提供を行うこと」

※5 前回調査では、「男性が家事、育児、介護を行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること」